

会 議 録

| | | | |
|-----|------------------------------|----------|------------|
| 会議名 | 令和4年度 第4回豊田市入札監視委員会 | | |
| 日 時 | 令和5年3月22日(水) 午後2時00分～午後3時00分 | | |
| 場 所 | 豊田市役所 南庁舎5階 51会議室 | | |
| 出席者 | 委員長 曾我部 博之 | 副市長 | 安田 明弘 |
| | 委 員 河野 伊知郎 | 事業管理者 | 前田 雄治 |
| | 岡田 千絵 | 総務部 | 検査監 田中 一弘 |
| | | 契約課 | 課 長 加藤 純也 |
| | | | 副課長 福岡 宏泰 |
| | | | 担当長 岸上 和美 |
| | | | 担当長 山口 敏宏 |
| | | | 担当長 鶴田 智之 |
| | | 上下水道局 | |
| | | (上下水)総務課 | 課 長 下川 涼太郎 |
| | | | 副課長 成瀬 孝紀 |
| | | | 主 査 三宅 寛貴 |

1 意見具申

曾我部委員長から意見具申書の内容説明後、市及び上下水道局に手渡す。

2 意見交換

| 質 問 | 回 答 |
|---|---|
| 出生率の低下に同じくして将来の技術者不足が深刻化しているが、市の状況はどうか。 | 職員の採用において技術系の職員に欠員が出るなど、優秀な人材の確保に苦慮している。また、市の工事を請け負う中小規模の業者では、大手企業に人材が流れ、山間地域では高齢化が進むなど技術者不足となっている。 |
| リクルーターや人事関係者によると民間企業や他市町村では人材難となっており、現職員にしわ寄せがくることを懸念する。土木現場の環境の改善や魅力を伝えるPRが必要では。 | 工事発注の平準化について目標を定め力を入れている。業務のデータ化を進める等、しわ寄せが生じないように改めて拍車をかけていきたい。 |
| 技術者不足については、今対策しておかないと将来立て直すことができないのでは。 | 従来の採用方式のみならず、年度途中の採用や社会人採用など裾野を広げている。契約制度においても改善に力を入れていきたい。 |

3 報告事項

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>総合評価方式の提案に関する見直し項目である「市内事業者の受注機会の確保に関する提案」とはどのようなものか。</p> | <p>下請業者が市外業者の場合、市内の経済循環を図ることができないため、市内下請業者の全体に占める割合を加点する仕組みとなっている。見直しについて複数の事業者を確認し同意を得ている。</p> |
| <p>特別簡易型の基準引き上げの目的に事業者の入札参加者に係る事務負担軽減を図るとあるがどのようなことか。</p> | <p>現在の提案方法は、所定のテーマについての提案であれば内容に制限はないため、作成する事業者にとっても、評価をする市にとっても負担となっていたため見直しを行うものである。</p> |
| <p>地域内経済循環にフォーカスし数値で評価できる点が良い。抽象的でない実質的で適正な評価であり、良い手続きとなる。</p> | <p>見直しを評価いただきありがとうございます。</p> |
| <p>特別簡易型（技術力型）の上限を1億5千万円から2億円に引き上げたねらいは何か。</p> | <p>事業者側からの要望もあり、提案を必要としない総合評価の範囲を拡大して、事業者の事務負担の軽減を図った。</p> |
| <p>SDGs 認定制度が登録制から認証制に変更するが評価に影響はするか。</p> | <p>6月から加点するが、登録も認証もいずれも加点となる。</p> |